

第13回大東市庁舎整備に関する推進本部会議 議事要旨

日時：令和3年5月18日（火）午後15時30分～16時00分

場所：委員会室

出席：野田副市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、
田中理事兼総務部長、品川理事兼議会事務局長
中村危機管理監、東政策推進部長、木村市民生活部長、奥野人権政策監
青木福祉・子ども部長、北本保健医療部長、今出都市整備部長、
北田産業・文化部長、北田教育総務部長、伊東学校教育政策部長、
辻本選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長
(事務局)
清水総括次長、川口行政サービス向上室長、
田中行政サービス向上室課長、川崎

【次第】

次第1 前回以降の進捗状況について

≪資料に沿って説明。以下、質疑応答≫

(副市長)

≪資料に沿って説明。≫

4月19日に、3名の特別職で協議を行った。協議の中では、耐震性が不足する本庁舎を速やかに整備する必要があること。しかしながら、デジタル化などで行政サービスの在り方がここ数年で劇的に変化するであろうことが予想され、現時点では、庁舎の規模を固定化することは難しいこと。また、コロナ禍の状況においては、今後の国庫補助なども不透明となり、市の財政状況は厳しくなることが予想される。これらの点をしっかりと認識しながら、庁舎整備を進めていくことが重要であるということが3名の共通の思いである。

これらから、現時点では、大きなハコモノを整備するのではなく、将来の選択肢を残しつつ、柔軟に対応できる整備を考えていく必要がある。まちづくりと庁舎の在り方という本質的な議論は継続していく前提で、現在地での耐震改修と必要最低限の増築を進めていく案が妥当ではないかということで意見を集約した。

また、増築棟の部分については、どの程度の建物にするかは議論の余地があるが、せっかく審議会を設け、この間、様々ご意見を頂いてきたので、頂いたご意見については、

積極的に取り入れていきたいと考えている。例えばワンストップ窓口などは耐震改修案であっても十分可能である。

これらから、耐震改修+増築案をベースに、これまでの審議会のご意見や基本構想案における提案は尊重し、今後具体的な実現に努めていきたいという思いである。

(教育長)

まず、第一に、耐震化されていない庁舎を1日2日と継続して使用していくことがそもそもリスクである。

これまでの調査の中で、まちづくりについて、広がりが見える面白い案もあると考えるが、過去に1つの案が否決され、そこからゼロベースで組み立て、時間をかけて検討してきたこれまでの経緯を考えると、今からアイデア広げていくというより、現実的には、今後の災害発生に備え、いち早く庁舎を整備することが第一義的な優先順位となるのではないかと。候補地を絞り込んだ後でも、その中で様々な調整は必要となってくるが、一定、迅速に整備を行うことができる案が耐震改修案ではないかという結論にいたった。

(上下水道事業管理者)

市民への説明責任がある。耐震診断から10年以上経過しており、納得いただくためにも、早期整備と、ランニングコストを含めた事業費を抑制することが大変重要である。また、長期的な視点に立った議論を行なっていく必要がある。昨今の社会状況はめまぐるしく変化しており、柔軟性の視点は考慮する必要がある。将来の柔軟性を考えると耐震改修案が良いのではないかと。また、この案であれば、審議会の意見も反映が可能と考えている。

(副市長)

このような考え方で、候補地・整備パターンを推進本部の意見として決定していきたいがいかがか？

(全員)

異議なし

(副市長)

それでは、推進本部の現時点での方向性として、耐震改修+増築案を決定し、市長や議会にご提案申し上げていくこととする。

事務局、今後はどのような予定となるか

(事務局)

今後は、本日の内容を市長に報告させていただき、その後、特別委員会にも、推進本部会議の意見を報告させていただく。

これから、策定する基本構想案についても、4案から1案に絞り込む選定過程を記載し、出来る限り早く市民の皆様にお示ししたいと考えている。7月頃にパブリックコメントをできればと考えている。

推進本部としての方向性は決まったが、重要になるのは、建物以上にソフト面であると思っている。ICT化や窓口の改善、レイアウトについてもしっかりと検討していきたい。これらに関しては随時報告していくのでご協力いただきたい。

(市民生活部長)

市民会館については、4月が契約更新時期となる。この7月には募集要項を配付する。庁舎整備において、市民会館を仮庁舎として一部使用する可能性がある場合は、指定管理募集要項に触れておく必要がある。今後調整していただきたい。

(政策推進部長)

早期整備については、議会からもご意見をいただいている。

方向性がすぐにでもまとまれば、12月に基本設計予算を上程していきたい。

(理事兼議会事務局長)

特別委員会で十分に説明していただきたい。

経費の削減や早期実現の説明はあるものの、耐震改修により、何年建物をもたし、どれだけ将来的な存続を目指しているのかをしっかりと答えられるようにしていただきたい。

(理事兼総務部長)

これからは、庁舎の耐震化だけでなく、業務の進め方やより市民のためになることを職員全員で考え、デジタル化をしっかりと進めていく必要がある。

(副市長)

それでは、本日の会議は以上で終了する。